

スケールスコア	CEFR (新基準)	LEXILE	各レベルに該当する標準的な生徒へのアドバイス	学習について	指導の例
115	B1	750L	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 様々なテーマの長い複雑な物語やアカデミックな文章を読みましよう。</li> <li>◆ 物語や説明を読み、その内容を自分のことばで話したり書いたりしてみましよう。</li> <li>◆ 自分のリーディング力についてより正確に知るため、TOEFL Junior テストを受験する準備をしましよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆長い文章読むことに慣れるよう、たくさん本を読むことが大切です。また、幅広い語彙を身につけておく必要もあります。</li> <li>● 色々な本をたくさん読んで、語彙を幅広く身につけましよう。LEXILE 650L から 850L 程度の本をたくさん読むことが大切です。</li> <li>● セリフの多い本ではなく、小説のようなト書きの多い本や、科学や自然に関する本を読むことが大切です。</li> <li>● わからない部分で止まって考えたり辞書を引きたりせず、前後の文やそれまでの話の流れから推測して読み進めましよう。辞書を使う際には、最後かキリのいいところまで読んでから分からない語を調べましよう。</li> </ul>	<p><b>読みながら、わからない語や部分に線を引き、後に辞書等を使って調べて内容の理解を深めさせる。</b> アカデミックな文章は長文であることが多く、また書き手によって表現の仕方や説明する順序が変わることがあります。わからない表現や語に止まってしまうよりも、全体を読んで大まかな内容を把握し、さらに重要な部分を深く読み込むことが大切です。そのために英語の力に合った洋書を読ませ、全体的に読み、わからない表現や語はしるしをつけておいて後から確認させるとよいでしょう。</p> <p><b>新しく知った語を集めてオリジナル単語集を作らせる。(ジャンルごとに分けてもよい)</b> 英語の学習において、わからない語が出てきたときに、前後の文脈やすでに知っている知識等で補うことができますが、それ以後にその語が出てきたときに意味が把握できていないと、より読みやすくなります。上記の方法でピックアップされた語や普段の生活において遭遇した意味のわからない語を、意味と一緒にノートに書き溜めていくとよいでしょう。時折見返してはちゃんと意味を覚えているかを確認させます。</p> <p><b>読んだ内容についてメモを書かせ、メモをもとに内容を説明させる。</b> なんとなくわかっているだけでは十分に要点がつかめていない場合があります。洋書や公式問題集の文章を読ませてメモを作ったり、それをもとに内容を話したりすることで、要点がつかめているかを確認することができます。いろいろな本を読んで、ブックレビューをためていくとよいでしょう。</p>
114					
113					
112	550L	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 様々なテーマの長い複雑な物語や文章を読みましよう。</li> <li>◆ 物語や情報を読み、その内容を自分のことばで話したり書いたりしてみましよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ある程度の長い文章を読むことに慣れるため、物語のほか社会や理科に関する本を、写真やイラストも参考にしながら読みましよう。</li> <li>● 物語や自然科学に関する本や伝記で、特に LEXILE 450L から 650L 程度の本をたくさん読むことが大切です。</li> <li>● 本を読むときは、わからない語があっても止まらず読み進めましよう。辞書を使う際には、最後かキリのいいところまで読んでから分からない語を調べましよう。</li> <li>● インターネット等で内容を調べて読んだ内容と合っているのか、どの部分にそのことが書いてあったのか等を見つけてましよう。</li> </ul>	<p><b>読みながらわからない語や部分に線を引いて、止まらず全体的に内容理解を深めさせる。</b> 身近なもののばかりでなく、今まで興味がなかったテーマや、自分の生活においてあまり触れることのなかったような場面の物語を読ませます。その時になじみのない語や表現に遭遇し、止まってしまうがちですが、前後の文脈や既知の情報で対応できる力もついてきているはずで、洋書を読ませ、わからないところで止まらずキリの良いところまで読んで、「こんな意味かなあ」と考えるような習慣を身につけさせましよう。</p> <p><b>新しく知った語を集めてオリジナル単語リストを作らせる。(ジャンルごとに分けてもよい)</b> わからない語や表現をいちいち調べていると大変疲れます。また、抜き出したものを見返すときにあまりにも多いのも気が減入ります。わからないからと言って全部調べるのではなく、読んだ後にまだ気になる語だけを調べさせ、リストにしていくとよいでしょう。</p> <p><b>読んだ本について、友だちへの本紹介や感想を記録させる(新しく知ったこと、理解しにくかった内容等)</b> 英語の力に合った本や文章を読ませ、それを紹介したり感想を書かせたりすることで、話の概要や重要な部分を把握する力が付きます。紹介や感想のために本や文章を読み返すことも、重要な部分を適切に把握する力となります。また、インターネットや日本語の本、インターネット等で内容に関する情報を調べて、自分の理解が正しかったのかを確認することもよいと思われます。</p>	
111					
110					
109	A2	325L	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 知らない単語や新しい単語を学びましよう。</li> <li>◆ 様々なテーマの物語や文章を読む練習をしましよう。</li> <li>◆ 複雑な情報を読み、その内容を自分のことばで話したり書いたりしてみましよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆語彙を増やす必要があります。好きなジャンルの本ばかりでなく、今まで読まなかったようなジャンルの本にも挑戦しましよう。</li> <li>● 学校や家など、身近な場所が舞台となった物語や、写真や絵が多く用いられた理科や社会に関する本をたくさん読んで、どんどん語彙を増やましよう。LEXILE 220L から 420L 程度の本を読みましよう。</li> <li>● わからない語があれば、止まったり辞書で調べたりせず、そのまま読み進め、後になって気になる場合は調べてましよう。</li> <li>● いろいろな本を読むのと同時に、同じ本も何度も読むようにしましよう。</li> </ul>	<p><b>好きなものや身近なもののばかりでなく、いろいろなジャンルの文章を読ませる。</b> なじみのある場面における、日常的に目にするものや好きなものについては、ある程度英語でも理解できるようになっていると思われるので、今まで興味のなかった分野での語や表現を増やしていくことが必要です。語や表現について幅広く知識を増やしていけるよう、英語の力に合った様々な洋書や文章を読ませていましよう。</p> <p><b>用いられていた写真やイラストについて説明させる。</b> 英語を読んで、なんとなく分かっただけでは効果的でないこともあるので、洋書や文章を読ませた際には、挿絵や写真について、それは英語でどう言うのか、話の内容とその絵や写真はどのような関係があるのかについて問いかけます。英語がわからず絵や写真だけで内容を推測している場合もありますので、同じ本や文章を読んだ時にはペアやグループになって、説明し合ったりわからないことを共有し合ったりすることで、理解が深まることが期待されます。</p> <p><b>面白かったことを記録したり、友だちに紹介したりさせる。</b> 読む文章のおおまかな内容を捉えるのと同時に、重要な情報や要点を見つけ出す力も必要です。個別でも全体でも英語を読ませたら、感想の記録や友だちへの紹介によってこの力が付いていくと思われます。面白かった内容、あらずし、登場人物のやその性格などを記録させていくとよいでしょう。</p>
108					
107					

スケールスコア	CEFR (新基準)	LEXILE	各レベルに該当する標準的な生徒へのアドバイス	学習について	指導の例
106	A1	125L	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ なじみのある人、もの、情報について書かれている長い文章や物語を読みましよう。</li> <li>◆ ものや場所、人、動作、思考を表す単語をたくさん学びましよう。</li> <li>◆ まとまった文章や情報、物語を読み、その内容を自分のことばで話したり書いたりしてみましよう。</li> </ul>	<p>☆ <b>英語の文章にどんどん慣れていく必要があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● たくさん読めるように、自分の好きなジャンルで本を選びましよう。イラストや写真が多く、読んでいるときに止まってしまうくらいレベルを選ぶとよいでしょう。LEXILE 200L くらいまでの本が読みやすいでしょう。</li> <li>● セリフの部分では、だれが言っているのか、どういう気持ちで言っているのかを想像しましよう。</li> <li>● グラフィックノベルズ（GN）も時々読んで、登場人物がどんな表情やジェスチャーをしているのかを参考に内容を理解しましよう。</li> </ul>	<p><b>時系列や場面、登場人物の性格や人間関係について、質問し答えさせる。</b>                      クラスや個別で洋書や文章を読んだ後、話の重要な場面を表したピクチャーカードを示し、並べ替えさせて時系列を確認させます。また登場人物について、どのような性格や役どころだったのか、登場人物同士の人間関係なども問い、黒板に書きだしたりワークシートに記入させたりすることによって、より深く読み込むことにつながると思われます。読んだ本について簡単な感想とともに記録させることもよいでしょう。</p> <p><b>レシビや人物の説明の文章をシンプルな表現にリライトして読ませて内容を理解させる。</b>                      料理の作り方や人物の紹介、有名で児童・生徒が既知に知っているような物語を平易な英語にリライトして読ませます。読んで意味が分からない部分があっても写真やイラスト、既知の情報などとリンクさせて内容を理解していく読み方を定着させるとよいでしょう。</p> <p><b>知らない語でも読み方を想像できるようにフォニックスの指導をする。</b>                      読めない語に遭遇すると、あきらめてしまう児童・生徒は多いのですが、読めない語であっても音で聞くとわかる場合もよくあります。フォニックスを使って音が分かるようになると、読める語が増えますので、フォニックスを指導して6～10字程度の語を読めるように練習していくと、粘り強く読み進めていく力がつくでしょう。</p>
105					
104					
103					
102	BR	125L	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日常の場面でよく使われる言葉づかひや一般的な表現を学びましよう。</li> <li>◆ なじみのあるテーマについて書かれた簡単な文や短い文章を読む練習をしましよう。</li> </ul>	<p>☆ <b>身近な英語に慣れていく必要があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な場面が登場する本をたくさん読んで、いろいろな単語を知り、身の回りのものが英語で言えるか確認してみましよう。</li> <li>● CD 付きの本や読み上げ機能のある電子書籍を使って、本を見ながら耳でも聞き、どの語を読んでいるのか見つけてみましよう。</li> <li>● 学校で習うせいけつや理科、社会の内容に似ている本を読んで、英語ではどんな名前がついているのかをどんどん知っていきましよう。</li> </ul>	<p><b>身近な場面に関する洋書や文章を読ませ、語彙を増やしていく。</b>                      日常生活に関わる語彙を増やすために、学校や家の中、公園等が舞台となっている洋書や文章を読ませ、どのような語がよく出てくるのか、それらはどういう意味なのかを考えさせます。日常生活で目に見えるものは、全部英語で言えることを目標にどんどん語彙を増やしていきましょう。また、先生や家族、友だちとの対話から、日常的なあいさつや指示などについても意味を知り、どんどん蓄積させていきましょう。</p> <p><b>音を聞きながら文字を目で追い、英語の文字への認識を高めていく。</b>                      教員や CD によって、音声で聞かせることも効果的だと思われましよう。読めなくても、耳で聞きながら文字を指で負わせ、アルファベットと音とのつながりを認識させる準備をしましよう。重要な表現やよく使われる語については、ピクチャーカードやイラストを添えて、意味を教えるからリピードさせて定着させるとよいと思われましよう。</p> <p>他教科の学習で学んだ題材のジャンルから本を選び、英語でどのように言うのかを学習させましよう。</p> <p><b>他教科の学習で学んだ題材のジャンルから本を選び、英語でどのように言うのかを学習させる。</b>                      英語以外の学習で習った科学や自然、地域、国等に関連した英語の本や文章を用意して、英語での言い方を学んだり、自分の知っている情報と合わせて理解しようとしてみましよう。粘り強く読む姿勢が生まれてくると思われましよう。</p>
101					
100					
100	Below A1	125L	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日常の場面で使われる単語や一般的な表現を学びましよう。</li> <li>◆ 人、もの、場所との関係を示す単語を学びましよう。</li> <li>◆ なじみのあるテーマについて書かれた簡単な文や短い文章を読む練習をしましよう。</li> <li>◆ 自分のリーディング力についてより正確に知るため、TOEFL Primary Step 1 テストを受験する準備をしましよう。</li> </ul>	<p>☆ <b>英語に慣れていく必要があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 好きな本をたくさん読んで、好きなことはどんどん英語で言えるようになりましよう。</li> <li>● CD 付きの本や読み上げ機能のある電子書籍を使って本を見ながら耳でも聞いて内容を想像しましよう。</li> <li>● 身の回りにあるものについて、英語の名前が言えるようにしましよう。今見えている景色の中で、英語で言えないものがあつたら先生に聞いたり調べたりして、どんどん覚えていく。</li> </ul>	<p><b>教室や家の中にあるものの語彙を、ピクチャーカードや小学校の教科書等を使って覚えさせる。</b>                      身近な語を増やしていくために、小学校の英語の教科書に載っている語を中心に、ピクチャーカード等を使って語彙を増やしていきましよう。文字は書けなくてもよいので、常に絵と一緒に文字を提示し、文字への認識を少しずつ高めていきましよう。初めは果物や野菜、スポーツ、色、職業等から初めて、身体的な動きを表す動詞へと増やしていくとよいと思われましよう。</p> <p><b>口頭でお気に入りの本や新しく知った言葉の紹介をさせる。</b>                      読み聞かせや CD を聞きながら読む活動や、知らない言葉を教員に聞いたりして新しく知ったことばをメモに書いて人に話したりすることで、忘れにくくより定着するようになります。絵本等を読んだり聞いたりした際には、話の流れと新しく知った語について振り返り、メモに残す等の方法を試してみてもよいかもしれましよう。</p> <p><b>フォニックスを使用し、ある程度の長さまでの語を読む練習をさせる。</b>                      読めない語に遭遇すると、あきらめてしまう児童・生徒は多いですが、読めない語であっても音で聞くとわかる場合もよくあります。フォニックスを使って音が分かるようになると、読める語が増えますので、フォニックスを指導して4～6字程度の語を読めるように練習していくと、読んでいてわからない語を減らすことができると思われましよう。</p>

スケールスコア	CEFR (新基準)	各レベルに該当する標準的な生徒へのアドバイス	学習について	指導の例		
115	B1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 様々なテーマの長い複雑な物語やアカデミックな文章を聞きましょう。</li> <li>◆ 会話の中で、あまり一般的な単語や表現を使う練習をしましょう。</li> <li>◆ 物語や情報を聞き、その内容を自分のことばで話したり書いたりしてみましょう。</li> <li>◆ 自分のリスニング力についてより正確に知るため、TOEFL Junior テストを受験する準備をしましょう。</li> </ul>	<p>☆<b>専門的な言葉を含む英語を聞き、わからない部分の意味をわかる部分から推測しながら聞く必要があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 動画サイトでスピーチや対話を聞いて、英語を話す人による、状況によって使う言い回しや、意味や場面の違いによるイントネーションの変化を聞き取り研究しよう。</li> <li>● 聞いたことのあるセリフやスピーチでシャドーイング（聞きながら同時にそれを声に出して言う練習）に挑戦しよう。</li> <li>● 映画のセリフやスピーチを聞いて、一言一句書き出せるか挑戦してみよう。また、わからなかったところを確認しよう。</li> </ul>	<p><b>英語話者特有の言い回しと、状況に応じたイントネーションに慣れさせる。</b>                      ニュース番組でのキャスター同士の会話や、ドラマや映画での人物同士の掛け合いを聞かせて、知らない言い回しや状況によって変わるイントネーションの違いを研究させます。子ども向けのアニメ等でも登場人物同士の掛け合いに、日本の教科書等ではあまり聞かれないが、欧米ではよくつかわれる表現があります。いろいろな人物の英語を聞いて、知識をどんどん広げていきましょう。</p> <p><b>映画のセリフやスピーチの SCRIPT なしでのシャドーイングに取り組みせ、合わない部分を分析させる。</b>                      映画やスピーチの場面を何度も聞かせて内容を理解させた後、再生した音声と同じことばを同じ速さで話させます。話している英語がわからない部分や再生した音声と合わない部分について SCRIPT を確認し、どのような英語で話しているのかや、どのように音がつながったり切れたりしているのかを研究させます。</p> <p><b>映画のセリフやスピーチ、テレビ番組等の一部分（1.0 センテンス程度）を、すべてディクテーションさせる。</b>                      映画やスピーチ等の一部分を切り出して、すべて文字に書き起こさせます。わからない部分は何度も聞いて、何と言っているのかわかるまで挑戦させます。書き出した後は SCRIPT を見せて、間違っていたところについて、どう聞こえたのか、実際はどう言っていたのかを確認させます。全体が正しく理解できたうえで、同じ速さとイントネーションで言えるか挑戦させます。</p>		
114		113	112	111	110	
112		111	110	109	108	107
111		110	109	108	107	
110		109	108	107		
109	A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 長い物語やアカデミックな話に出てくる知らない単語や新しい単語を学びましょう。</li> <li>◆ 会話の中で、あまり一般的な単語や表現を使う練習をしましょう。</li> <li>◆ 物語や情報を聞き、その内容を自分で話したり書いたりしてみましょう。</li> </ul>	<p>☆<b>語彙や正確な発音・イントネーション等を身につけながら、自然なスピードで話される英語にどんどん慣れる必要があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語を聞いたら SCRIPT を確認して、知らない語を見つけて意味を覚えよう。また知っていた語についても、どのように発音されていたかを確認して、正しい音を覚えよう。</li> <li>● 意味を理解したうえで、ネイティブの話しているスピードやイントネーションの物まねに挑戦しよう。</li> <li>● 動画サイトの英語ニュースやテレビニュースの英語副音声、字幕なしの映画を流し、耳を慣らして聞き取れる部分を探そう。</li> </ul>	<p><b>英語を聞いた後に SCRIPT を確認して知らない語を減らし、語や文を正確に発音ができるように練習させる。</b>                      CD や読み聞かせで英語を聞かせ、内容を大まかに理解した後、SCRIPT を配布して知らなかった語や表現の意味や発音を確認させて、どんどん知らない英語を減らしていきましょう。特に日本語においてカタカナで理解している語が、英語ではどのように聞こえるのかも注目させて、聞き取れない語を減らしていきましょう。実際に使われている文脈で聞き取れる力が付いていくと、いろいろな語が聞き取りやすくなっていきます。</p> <p><b>まとまった英語を聞き、内容を理解させた上で、ネイティブの話し方やスピードを真似て話す練習をさせる。</b>                      1～2文ではなく、8～10文程度の文章を聞かせ、内容を説明した上でネイティブと同じように読む練習をさせます。しっかり聞こえる語と聞こえにくく小さな音になっている語の違いや、文と文の間隔や意味によって止まったり音量が変わっている部分にも注目させます。ものまねの要領で、ネイティブスピーカーに近づくことに挑戦させていきましょう。</p> <p><b>日本語で理解しているニュースや物語を英語で聞かせ、英語でどのように話されていたか確認させる。</b>                      「英語ではこんな風に言うんだ」ということに多く気づかせ、表現のされ方を蓄積させていきましょう。日本の昔話や時事的なニュースなどを見せて表現に注目させるとよいと思われます。また、ドラマや映画を字幕なしで視聴させ、驚いた時や泣いているときなどに「こんな時にはこんな英語を話しているな」ということに気づく練習もよいのではないのでしょうか。</p>		

スケールスコア	CEFR (新基準)	各レベルに該当する標準的な生徒へのアドバイス	学習について	指導の例						
106	A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なじみのあるテーマや設定、動作を表す単語をたくさん学びましょう。</li> <li>● 会話のなかで、あまり一般的でない単語や表現を使う練習をしましょう。</li> <li>● 自分の年齢に見合ったアカデミックな話や長い物語を聞きましょう。</li> <li>● 物語や情報を聞き、その内容を自分の言葉で話したり書いたりしてみましょう。</li> </ul>	<p>☆話されている英語に慣れ、イラストや図を見ながら内容を理解する練習が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語を聞いたら、知っている語を探し、同じように真似して言えるか挑戦しよう。特に話している人の年齢や気持ちによって、言い方がどんなふうに変まっているのかも注目しよう。</li> <li>● 子ども向けの番組、アニメ、歌を、どんな意味なのかを考えながらたくさん見たり聞いたりしよう。</li> <li>● 何度も同じものを見たり聞いたりして、わかる英語を増やしていこう。</li> </ul>	<p><b>読み聞かせやアニメなどで英語を聞かせた後、キーワードとなる語について意味や発音を確認し練習させる。</b> 知っている語や聞き取れる語を増やしていきます。読み聞かせをしたり動画で英語を聞かせた後、聞き取れた語や表現を尋ね、いつ、どんな風に聞こえたのかを他の児童・生徒とも共有させます。絵や映像を頼りにしながら、キーワードとなる語を書きだして、内容を理解する一助とするのもよいと思われます。</p> <p><b>日常生活を題材とした番組や映画、英語の歌を聞かせ、大まかな内容を確認しよく使われる語や表現を練習させる。</b> 日常的によく使う語彙や表現を含んだ番組や映画、英語の歌を用意し聞かせます。内容を理解させたらうで、英語圏で頻繁に使われることばとして紹介して蓄積させ、ネイティブと同じように言えるようになるまで練習します。特にあいさつの時に使われる表現や短い応答において使われる表現に着目して取り組むとよいでしょう。あいさつは Hell, Good morning,の他に、What's up? How are you doing? Pretty Good,など英語話者同士が用いるような表現の知識もどんどん増やしていきます。</p> <p><b>同じものを何度も見聞かせ、聞こえる語や表現を増やしていく。身近な語彙についてその都度確認し定着させる。</b> 一度聞いただけでは記憶に残らないことがよくあります。同じ動画の視聴や同じ本の読み聞かせを何度も行い、児童・生徒がセリフを覚えて先に言うてしまうくらい浸透させられるとよいでしょう。また、少しずつ理解できる語を増やしていくことも行います。最初は絵に描かれているものだけ、次に絵には描かれていないもの、感嘆表現、登場人物のセリフなど、どんどんわかる語や表現を増やしていきます。</p>						
105	A1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 簡単な文で使われているなじみのある単語を話したり聞いたりする練習をしましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な会話をする練習をしましょう。</li> <li>◆ 先生、友だち、家族のメッセージを聞く練習をしましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な物語を聞いて、そこで説明されている基本的な情報を確認しましょう。</li> </ul>	<p>☆日常生活で使われる英語に慣れ、短いシンプルな応答や指示を聞けるようになる必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身の回りにあるものの英語の名前が全部英語でわかるようになりましょう。</li> <li>● あいさつや簡単な質問の意味を確認して、いろいろな時に使う表現をどんどん覚えていきましょう。</li> <li>● 絵本の読み聞かせや短い動画等を見て、どんな話の展開なのかを考えることに挑戦しよう。</li> </ul>	<p><b>日常生活にあるもの、毎日の生活で触れるものの語彙を中心に増やしていく。</b> ピクチャーカードを使って、家の中にあるもの、学校にあるもの、公園やバス停などにあるものの語彙を増やしていきます。果物、野菜、料理、スポーツ、食べ物、飲み物等から始め、徐々に増やしていき、最終的には目に見えるものはすべて英語の呼び方がわかっていることを目標にします。また日常生活で、英語での名前がわからないものを書き出させ、それぞれの英語の呼び方を指導していきます。</p> <p><b>いろいろな挨拶や簡単な質問について英問英答ができるように練習させる。</b> いろいろな時間帯のあいさつや How are you?とその応答などの決まり文句を少しずつ覚えさせていきます。また、What ... do you like?や What do you have?などシンプルな質問とその回答が英語でできるように練習させていきます。身の回りの語彙がある程度身につけていけば、can / can't や命令文とともに動詞を指導し、Simon Says などをしてしながら体を動かしていろいろな表現や語を身に付けていきます。</p> <p><b>読み聞かせや動画の後に、どのような展開であったのかを把握させ、基本的な語を見つけさせる。</b> 数分程度の読み聞かせや動画を視聴させた後、ストーリーの展開や登場する人物や動物などについて質問します。また絵本や動画に出てきたものの語彙の中から基本的なものについてピックアップし意味を確認した後レポートさせて定着させましょう。</p>						
104					<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自宅、学校、家族、色、体の部位、動物など、なじみのあるカテゴリーのものや人に関して日常的に使われる単語を学びましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な会話をする練習をしましょう。</li> <li>◆ 先生の説明や短いメッセージを聞く練習をしましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な物語を聞き、そこで説明されている情報を明らかにしましょう。</li> <li>◆ 自分のリスニング力について正確に知るため、TOEFL Primary Step 1 テストを受験する準備をしましょう。</li> </ul>	<p>☆身の回りの英語から、どんどん慣れていく必要があります。またあいさつや会話にもどんどん慣れていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語の質問に対して、自分のことを英語で言えるように練習しよう。自分の年齢やニックネーム、好きな色、スポーツ、食べ物などについて、英語で言えるように練習しよう。</li> <li>● 子ども向けの番組やアニメなどを見て、知っている英語を見つけたり、気持ちがかもっているセリフを練習したりしよう。</li> <li>● できるだけ毎日英語の番組やアニメなどを見て、どんなことを言っているのかを想像しながら楽しもう。</li> </ul>	<p><b>話された英語を聞いて意味を理解させたらうで、自分のことや好きなものを言う練習をさせる。</b> I like やI have 等シンプルな文を聞かせて意味を確認し、自分の好きな果物や動物、スポーツや持っているものについて英語で言えるように練習させます。一度に多くの語彙を指導することは難しいこともあるので、まずはそれぞれのカテゴリーの中から一つ自分の好きなものや持っているものに絞って言うようにしていきます。またピクチャーカードを使ってレポートさせて、クラスメイトの言っていることもわかるように少しずつ語彙を増やしていく準備をしましょう。</p> <p><b>子ども向けの番組やアニメ、映画を見せて、聞こえた単語や印象に残った表現を真似して言えるよう練習させる。</b> テレビや動画サイト、DVD 等で子ども向けのアニメや学校や家が舞台となったドラマ等を視聴させ、聞き取れた語や表現を共有させます。意味を指導したらうで同じような発音やイントネーションで言えるように練習させ、あいさつ等の基本的な表現は普段の英語の指導の中でも使う頻度を増やして定着させていきます。</p> <p><b>英語の歌や短いアニメをできるだけ多い頻度で見聞かせ、英語の音やイントネーションに慣れさせる。</b> 子ども向けの英語の歌や、短く基本的な表現が多く含まれる動画を多く見せて、英語特有のイントネーションや話し方に慣れさせていきます。英語の歌ではそれぞれのことばの意味も定着していくよう徐々に解説を入れていくとよいと思われます。動画は同じものを何度も見せて、内容や表現を覚えてしまうくらいに慣れさせるのもよいと思われます。</p>			
103								<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自宅、学校、家族、色、体の部位、動物など、なじみのあるカテゴリーのものや人に関して日常的に使われる単語を学びましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な会話をする練習をしましょう。</li> <li>◆ 先生の説明や短いメッセージを聞く練習をしましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な物語を聞き、そこで説明されている情報を明らかにしましょう。</li> <li>◆ 自分のリスニング力について正確に知るため、TOEFL Primary Step 1 テストを受験する準備をしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身の回りにあるものの英語の名前が全部英語でわかるようになりましょう。</li> <li>● あいさつや簡単な質問の意味を確認して、いろいろな時に使う表現をどんどん覚えていきましょう。</li> <li>● 絵本の読み聞かせや短い動画等を見て、どんな話の展開なのかを考えることに挑戦しよう。</li> </ul>	<p><b>話された英語を聞いて意味を理解させたらうで、自分のことや好きなものを言う練習をさせる。</b> I like やI have 等シンプルな文を聞かせて意味を確認し、自分の好きな果物や動物、スポーツや持っているものについて英語で言えるように練習させます。一度に多くの語彙を指導することは難しいこともあるので、まずはそれぞれのカテゴリーの中から一つ自分の好きなものや持っているものに絞って言うようにしていきます。またピクチャーカードを使ってレポートさせて、クラスメイトの言っていることもわかるように少しずつ語彙を増やしていく準備をしましょう。</p> <p><b>子ども向けの番組やアニメ、映画を見せて、聞こえた単語や印象に残った表現を真似して言えるよう練習させる。</b> テレビや動画サイト、DVD 等で子ども向けのアニメや学校や家が舞台となったドラマ等を視聴させ、聞き取れた語や表現を共有させます。意味を指導したらうで同じような発音やイントネーションで言えるように練習させ、あいさつ等の基本的な表現は普段の英語の指導の中でも使う頻度を増やして定着させていきます。</p> <p><b>英語の歌や短いアニメをできるだけ多い頻度で見聞かせ、英語の音やイントネーションに慣れさせる。</b> 子ども向けの英語の歌や、短く基本的な表現が多く含まれる動画を多く見せて、英語特有のイントネーションや話し方に慣れさせていきます。英語の歌ではそれぞれのことばの意味も定着していくよう徐々に解説を入れていくとよいと思われます。動画は同じものを何度も見せて、内容や表現を覚えてしまうくらいに慣れさせるのもよいと思われます。</p>
102										
101	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自宅、学校、家族、色、体の部位、動物など、なじみのあるカテゴリーのものや人に関して日常的に使われる単語を学びましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な会話をする練習をしましょう。</li> <li>◆ 先生の説明や短いメッセージを聞く練習をしましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な物語を聞き、そこで説明されている情報を明らかにしましょう。</li> <li>◆ 自分のリスニング力について正確に知るため、TOEFL Primary Step 1 テストを受験する準備をしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身の回りにあるものの英語の名前が全部英語でわかるようになりましょう。</li> <li>● あいさつや簡単な質問の意味を確認して、いろいろな時に使う表現をどんどん覚えていきましょう。</li> <li>● 絵本の読み聞かせや短い動画等を見て、どんな話の展開なのかを考えることに挑戦しよう。</li> </ul>	<p><b>話された英語を聞いて意味を理解させたらうで、自分のことや好きなものを言う練習をさせる。</b> I like やI have 等シンプルな文を聞かせて意味を確認し、自分の好きな果物や動物、スポーツや持っているものについて英語で言えるように練習させます。一度に多くの語彙を指導することは難しいこともあるので、まずはそれぞれのカテゴリーの中から一つ自分の好きなものや持っているものに絞って言うようにしていきます。またピクチャーカードを使ってレポートさせて、クラスメイトの言っていることもわかるように少しずつ語彙を増やしていく準備をしましょう。</p> <p><b>子ども向けの番組やアニメ、映画を見せて、聞こえた単語や印象に残った表現を真似して言えるよう練習させる。</b> テレビや動画サイト、DVD 等で子ども向けのアニメや学校や家が舞台となったドラマ等を視聴させ、聞き取れた語や表現を共有させます。意味を指導したらうで同じような発音やイントネーションで言えるように練習させ、あいさつ等の基本的な表現は普段の英語の指導の中でも使う頻度を増やして定着させていきます。</p> <p><b>英語の歌や短いアニメをできるだけ多い頻度で見聞かせ、英語の音やイントネーションに慣れさせる。</b> 子ども向けの英語の歌や、短く基本的な表現が多く含まれる動画を多く見せて、英語特有のイントネーションや話し方に慣れさせていきます。英語の歌ではそれぞれのことばの意味も定着していくよう徐々に解説を入れていくとよいと思われます。動画は同じものを何度も見せて、内容や表現を覚えてしまうくらいに慣れさせるのもよいと思われます。</p>							
100				<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自宅、学校、家族、色、体の部位、動物など、なじみのあるカテゴリーのものや人に関して日常的に使われる単語を学びましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な会話をする練習をしましょう。</li> <li>◆ 先生の説明や短いメッセージを聞く練習をしましょう。</li> <li>◆ 短い簡単な物語を聞き、そこで説明されている情報を明らかにしましょう。</li> <li>◆ 自分のリスニング力について正確に知るため、TOEFL Primary Step 1 テストを受験する準備をしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身の回りにあるものの英語の名前が全部英語でわかるようになりましょう。</li> <li>● あいさつや簡単な質問の意味を確認して、いろいろな時に使う表現をどんどん覚えていきましょう。</li> <li>● 絵本の読み聞かせや短い動画等を見て、どんな話の展開なのかを考えることに挑戦しよう。</li> </ul>	<p><b>話された英語を聞いて意味を理解させたらうで、自分のことや好きなものを言う練習をさせる。</b> I like やI have 等シンプルな文を聞かせて意味を確認し、自分の好きな果物や動物、スポーツや持っているものについて英語で言えるように練習させます。一度に多くの語彙を指導することは難しいこともあるので、まずはそれぞれのカテゴリーの中から一つ自分の好きなものや持っているものに絞って言うようにしていきます。またピクチャーカードを使ってレポートさせて、クラスメイトの言っていることもわかるように少しずつ語彙を増やしていく準備をしましょう。</p> <p><b>子ども向けの番組やアニメ、映画を見せて、聞こえた単語や印象に残った表現を真似して言えるよう練習させる。</b> テレビや動画サイト、DVD 等で子ども向けのアニメや学校や家が舞台となったドラマ等を視聴させ、聞き取れた語や表現を共有させます。意味を指導したらうで同じような発音やイントネーションで言えるように練習させ、あいさつ等の基本的な表現は普段の英語の指導の中でも使う頻度を増やして定着させていきます。</p> <p><b>英語の歌や短いアニメをできるだけ多い頻度で見聞かせ、英語の音やイントネーションに慣れさせる。</b> 子ども向けの英語の歌や、短く基本的な表現が多く含まれる動画を多く見せて、英語特有のイントネーションや話し方に慣れさせていきます。英語の歌ではそれぞれのことばの意味も定着していくよう徐々に解説を入れていくとよいと思われます。動画は同じものを何度も見せて、内容や表現を覚えてしまうくらいに慣れさせるのもよいと思われます。</p>				